

京都でもらった思い

ラッタナン・クントーン

チューラーロンコーン大学東洋言語学科日本語専攻

2016年2月7日～20日

(a) Academic outcomes

私が受けた日本語Ⅲのクラスでは、川端康成の「古都」という昔の京都を語る小説を読んだり、京都の景観問題に関する新聞記事などを読んで、京都の観光地の保全方針を理解することに努めました。「古都」の内容は離れ離れになった双子姉妹が偶然に再開し、二人の物語と将来の行先を語る小説ですが、背景の話とともに昔の京都の有名なお祭りの様子と、その美しさを表す部分がたくさんありました。この日本語Ⅲでの「古都」を通じて、昔の京都の様々な出来事について以前よりも理解が深まりました。そして、過去のことだけでなく、現在の京都の観光地の問題も新聞記事を通じて学びました。今、世界一観光に行ってみたい、日本の伝統的なところ、すなわち京都が、どんな問題で悩んでいるのか、ということについても学習しました。クラスで授業を受けることに加え、学外研修も良い経験になりました。京都にいる二週間の間に、二回、学外研修がありました。一回目は日本の最も代表的な染色法である「友禅」コースと和菓子を作るコースで、二回目は琵琶湖と沖島を訪ねました。

(b) My experiences in Kyoto University

勉強以外に、京都大生に京都から大阪までいろいろなところに連れて行ってもらいました。また自分でも、京都の有名かつ伝統的な観光地、例えば、金閣寺や伏見稲荷などに行き、京都の美しさを感じました。

(c) The content of the program

この「SENDプログラム」は、京都大学および京都近郊において、インドネシア・ベトナム・タイの留学生が、主に日本の言語・文化の講義を受けたり、文化体験をしたりするプログラムです。各国の留学生は、日本以外にも、自国の文化や習慣について京都大学生と他国の人と情報交換をします。このことも、このプログラムの貴重な目的の一部です。

(d) The impact of the program on your career plans

私は将来の進路についてまだ考えていませんが、京都大学で授業を受けたり、京都の観光地を訪れてみたり、昔の日本の雰囲気に触れたりする中で、もっと日本に長く残りたいと思いました。いずれ、チャンスがあれば、長期間、日本に留学したいと思います。